

第 93 期定時株主総会招集ご通知に際しての インターネット開示事項

- 1、連結計算書類の連結株主資本等変動計算書
- 2、連結計算書類の連結注記表
- 3、計算書類の株主資本等変動計算書
- 4、計算書類の個別注記表

上記事項は、法令及び当社定款第17条の規定に基づき、
当社ウェブサイト (https://www.rhythm.co.jp/ir/soukai_info.html)
に掲載することにより、株主の皆様にご提供しております。

リズム時計工業株式会社

連結株主資本等変動計算書

(2018年4月1日から
2019年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本				
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自 己 株 式	株主資本合計
2018年4月1日残高	12,372	9,806	7,112	△2,492	26,798
過年度遡及による 累積的影響額			△351		△351
遡及処理後当期首残高	12,372	9,806	6,760	△2,492	26,446
当 期 変 動 額					
剰 余 金 の 配 当			△247		△247
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△264		△264
自 己 株 式 の 処 分		△0		0	0
自 己 株 式 の 消 却		△2,221		2,221	-
自 己 株 式 の 取 得				△2	△2
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当 期 変 動 額 合 計	-	△2,221	△512	2,218	△514
当 期 末 残 高	12,372	7,584	6,247	△273	25,931

	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額				純 資 産 合 計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
2018年4月1日残高	796	1,205	△25	1,977	28,775
過年度遡及による 累積的影響額					△351
遡及処理後当期首残高	796	1,205	△25	1,977	28,423
当 期 変 動 額					
剰 余 金 の 配 当					△247
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△264
自 己 株 式 の 処 分					0
自 己 株 式 の 消 却					-
自 己 株 式 の 取 得					△2
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△315	299	114	98	98
当 期 変 動 額 合 計	△315	299	114	98	△416
当 期 末 残 高	480	1,505	89	2,075	28,007

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結注記表

(2018年4月1日から
2019年3月31日まで)

【連結計算書類作成のための基本となる重要な事項に関する注記等】

1. 連結の範囲に関する事項

子会社である、東北リズム株式会社・株式会社プリテック・リズム協伸株式会社・リズムサービス株式会社・リズム開発株式会社・RHYTHM U.S.A.,INC.・RHYWACO (H.K.) CO.,LTD.・RHYTHM INDUSTRIAL (H.K.) LTD.・RHYTHM PRECISION VIETNAM CO.,LTD.・RHYTHM INDUSTRIAL (DONG GUAN) LTD.・KYOSHIN VIETNAM CO.,LTD.・KYOSHIN INDUSTRY ASIA PTE LTD・RHYTHM KYOSHIN HANOI CO.,LTD.・PT.RHYTHM KYOSHIN INDONESIAの14社は全て連結の範囲に含めております。

2. 持分法の適用に関する事項

関連会社であるKOREA RHYTHM LTD.は当期純損益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）に及ぼす影響が軽微であり、かつ全体としてもその影響の重要性がないため、持分法の適用から除外しております。

3. 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

有価証券

その他有価証券

時価のあるもの …… 連結会計年度末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額については、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）によっております。

時価のないもの …… 移動平均法による原価法によっております。

デリバティブ取引 …… 時価法によっております。

たな卸資産 …… 主として先入先出法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）で評価しております。

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

有形固定資産 …… 主として定率法によっております。

（リース資産以外の有形固定資産） …… ただし、当社及び国内連結子会社については、1998年4月1日以降取得した建物（建物附属設備を除く）については、定額法によっております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物及び構築物 7～50年

機械装置及び運搬具 4～13年

工具・器具及び備品 2～20年

有形固定資産 …… 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

（リース資産） …… リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法を採用しております。

無形固定資産 …… 定額法によっております。

ただし、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

投資その他 …… 主として定率法によっております。

の資産 …… ただし、1998年4月1日以降取得した建物（建物附属設備を除く）については、定額法によっております。

（信託建物及び構築物） …… なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

信託建物及び構築物 8～34年

(3) 重要な引当金の計上基準

貸倒引当金 …… 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金 …… 従業員の賞与の支払いに備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

役員賞与引当金 …… 役員賞与の支出に備えて、当連結会計年度における支給見込額を計上しております。

(4) その他連結計算書類作成のための重要な事項

(i) 重要な外貨建資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

なお、在外子会社の資産及び負債、収益及び費用は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は「純資産の部」における為替換算調整勘定に含めております。

(ii) 退職給付に係る会計処理の方法

・退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当連結会計年度までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

・数理計算上の差異の費用処理方法

各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主に11年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌連結会計年度から費用処理しております。

(iii) 消費税等の会計処理方法

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

(iv) のれんの償却期間

のれんは10年間で均等償却しております。

【誤謬の訂正に関する注記】

1. 誤謬の内容

当連結会計年度に判明しました、当社連結子会社であるRHYTHM INDUSTRIAL(DONG GUAN)LTD.における不適切な会計処理により、誤謬の訂正を行っております。

2. 当連結会計年度の期首における純資産額に対する影響額

影響額については、「連結株主資本等変動計算書」の「過年度遡及による累積的影響額」に記載しております。

【表示方法の変更に関する注記】

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）に伴う、会社計算規則の改正（法務省令第5号 平成30年3月26日）を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

【連結貸借対照表に関する注記】

1. たな卸資産の内訳	商品及び製品	4,181百万円
	仕掛品	1,381百万円
	原材料及び貯蔵品	1,878百万円
	計	7,441百万円
2. 有形固定資産の減価償却累計額		18,297百万円
3. 信託有形固定資産の減価償却累計額		737百万円

【連結株主資本等変動計算書に関する注記】

1. 当連結会計年度末日における発行済株式の種類及び総数	普通株式	8,385,093株
2. 配当に関する事項		
(1) 配当金の支払額		

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
2018年6月20日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	247百万円	30.00円	2018年 3月31日	2018年 6月21日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
2019年6月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	247百万円	30.00円	2019年 3月31日	2019年 6月27日

【金融商品に関する注記】

- 金融商品の状況に関する事項
当社グループは、資金運用については安全性の高い金融資産で運用しております。
受取手形及び売掛金並びに電子記録債権に係る顧客の信用リスクは、与信管理規程に沿ってリスク低減を図っております。また、有価証券及び投資有価証券は合同運用指定金銭信託や株式が主であり、上場株式については定期的に時価の把握を行っています。
借入金には主に投資目的の資金調達であり、固定金利であります。
- 金融商品の時価等に関する事項
2019年3月31日（当期の連結決算日）における連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	連結貸借対照表 計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	10,128	10,128	—
(2) 受取手形及び売掛金	5,432	5,432	—
(3) 電子記録債権	1,695	1,695	—
(4) 有価証券及び投資有価証券			
その他有価証券	2,598	2,598	—
(5) 支払手形及び買掛金	3,375	3,375	—
(6) 社債	5,000	5,023	23
(7) 長期借入金（一年内返済予定を含む）	90	90	0

(注) 1. 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

(1) 現金及び預金、(2) 受取手形及び売掛金並びに (3) 電子記録債権

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(4) 有価証券及び投資有価証券

有価証券は合同運用指定金銭信託であり、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。また、投資有価証券の時価については、株式等は取引所の価格によっております。

(5) 支払手形及び買掛金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(6) 社債

これらの時価については、元利金の合計額を、新規に同様の発行を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

(7) 長期借入金（一年内返済予定を含む）

これらの時価については、元利金の合計額を、新規に同様の借入を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

2. 非上場株式(連結貸借対照表計上額789百万円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4) 有価証券及び投資有価証券」には含めておりません。

【賃貸等不動産に関する注記】

1. 賃貸等不動産の状況に関する事項

当社グループは、埼玉県、栃木県、長野県及びその他地域において、賃貸用の土地建物を有しております。

2. 賃貸等不動産の時価に関する事項

(単位：百万円)

連結貸借対照表計上額	時価
1,093	2,849

(注) 1. 連結貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額及び減損損失累計額を控除した金額であります。

2. 当連結会計年度末の時価は、主として「不動産鑑定評価基準」に基づいて自社で算定した金額であります。

【1株当たり情報に関する注記】

1. 1株当たり純資産額

3,389円98銭

2. 1株当たり当期純損失

31円99銭

【その他の注記】

減損損失

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

(1) 減損損失を認識した資産グループの概要

(単位：百万円)

会社名	場所	用途	種類	減損損失
RHYTHM PRECISION VIETNAM CO.,LTD.	ベトナム ハノイ市	事業用資産	機械装置、工具・器具及び備品等	107
RHYTHM INDUSTRIAL(DONG GUAN)LTD.	中国 広東省	事業用資産	機械装置、工具・器具及び備品等	185

(2) グルーピングの方法

原則として報告セグメントを基礎とした各社の事業単位でグルーピングしております。

(3) 減損損失を認識するに至った経緯

当社連結子会社であるRHYTHM PRECISION VIETNAM CO., LTD.の時計事業において、継続的に営業損失を計上している為、今後の見通しを検討した結果、将来キャッシュ・フローの回収が見込めない事から帳簿価額全額を減損損失として特別損失に計上しております。

当社連結子会社であるRHYTHM INDUSTRIAL (DONG GUAN) LTD.の時計事業及び電子事業において、継続的に営業損失を計上している為、今後の見通しを検討した結果、将来キャッシュ・フローの回収が見込めない事から帳簿価額全額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、RHYTHM PRECISION VIETNAM CO., LTD.及びRHYTHM INDUSTRIAL (DONG GUAN) LTD.の減損損失の測定における 回収可能価額は使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローが見込めないため、ゼロとして評価しております。

株主資本等変動計算書

(2018年4月1日から
2019年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本							株主資本 合 計
	資本金	資 本 剰 余 金			利 益 剰 余 金		自己株式	
		資 本 準 備 金	そ の 他 資 本 剰 余 金	資 本 剰 余 金 合 計	そ の 他 利 益 剰 余 金 繰 越 利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金 合 計		
当 期 首 残 高	12,372	3,419	6,387	9,806	2,527	2,527	△2,492	22,214
当 期 変 動 額								
剰 余 金 の 配 当					△247	△247		△247
当 期 純 損 失 (△)					△169	△169		△169
自 己 株 式 の 処 分			△0	△0			0	0
自 己 株 式 の 消 却			△2,221	△2,221			2,221	-
自 己 株 式 の 取 得							△2	△2
株主資本以外の項目の 当 期 変 動 額 (純 額)								
当 期 変 動 額 合 計	-	-	△2,221	△2,221	△417	△417	2,218	△419
当 期 末 残 高	12,372	3,419	4,165	7,584	2,110	2,110	△273	21,794

	評 価 ・ 換 算 差 額 等		純 資 産 合 計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当 期 首 残 高	769	769	22,983
当 期 変 動 額			
剰 余 金 の 配 当			△247
当 期 純 損 失 (△)			△169
自 己 株 式 の 処 分			0
自 己 株 式 の 消 却			-
自 己 株 式 の 取 得			△2
株主資本以外の項目の 当 期 変 動 額 (純 額)	△307	△307	△307
当 期 変 動 額 合 計	△307	△307	△727
当 期 末 残 高	461	461	22,255

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

(2018年4月1日から
2019年3月31日まで)

【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

1. 資産の評価基準及び評価方法

有価証券

その他有価証券

時価のあるもの …………… 期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額については全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）によっております。

時価のないもの …………… 移動平均法による原価法によっております。

子会社及び関連会社株式 …… 移動平均法による原価法によっております。

デリバティブ取引 …………… 時価法によっております。

たな卸資産 …………… 先入先出法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）で評価しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 …………… 定率法によっております。

ただし、1998年4月1日以降取得した建物（建物附属設備を除く）については、定額法によっております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物及び構築物 7～50年

機械装置及び運搬具 4～13年

工具・器具及び備品 2～20年

無形固定資産 …………… 定額法によっております。

ただし、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

投資その他の資産 …………… 定率法によっております。

（信託建物及び構築物）

ただし、1998年4月1日以降取得した建物（建物附属設備を除く）については、定額法によっております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

信託建物及び構築物 8～34年

3. 引当金の計上基準

貸倒引当金 …………… 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

退職給付引当金 …………… ・従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

退職給付引当金及び退職給付費用の処理方法は以下の通りです。

①退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当期までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

②数理計算上の差異の費用処理方法

数理計算上の差異については、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（11年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度より費用処理しております。

・未認識数理計算上の差異の貸借対照表における取扱いが連結貸借対照表と異なります。

賞与引当金 …………… 従業員の賞与の支払いに備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

4. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

5. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理方法

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

【貸借対照表に関する注記】

1. 関係会社に対する金銭債権・債務

短期金銭債権	841百万円
長期金銭債権	1,202百万円
短期金銭債務	459百万円

2. 有形固定資産の減価償却累計額

7,461百万円

3. 信託有形固定資産の減価償却累計額

737百万円

4. 保証債務

下記の会社の金融機関からの借入金に対して、次のとおり保証債務を行っております。

RHYTHM PRECISION VIETNAM CO.,LTD.	418百万円
計	418百万円

【損益計算書に関する注記】

関係会社との取引高

売上高	465百万円
仕入高	4,661百万円
その他の営業費用	490百万円
営業取引以外の取引高	734百万円

【株主資本等変動計算書に関する注記】

当事業年度の末日における自己株式の数

普通株式	123,325株
------	----------

【税効果会計に関する注記】

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生 of 主な原因別の内訳

(繰延税金資産)

退職給付引当金	37	百万円
たな卸資産評価損	86	
固定資産処分損	16	
未払事業税	15	
貸倒引当金	30	
投資有価証券評価損	670	
関係会社株式評価損	111	
関係会社株式譲渡損	144	
関係会社債権償却損	190	
資産除去債務	4	
減損損失	91	
未払金	29	
税務上の繰越欠損金	237	
その他	52	

繰延税金資産小計 1,719

税務上の繰越欠損に係る評価性引当額 $\Delta 237$

将来一時差異等の合計に係る評価性引当額 $\Delta 1,482$

評価性引当額小計 $\Delta 1,719$

繰延税金資産合計 —

(繰延税金負債)

その他有価証券評価差額金 $\Delta 19$

繰延税金負債合計 $\Delta 19$

繰延税金負債の純額 $\Delta 19$

(注)税務上の繰越欠損金及びその繰延税金資産の繰越期限別の金額

当事業年度(2019年3月31日)

(単位:百万円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超	合計
税務上の繰越欠損金 (a)	-	-	-	-	-	237	237
評価性引当額	-	-	-	-	-	△237	△237
繰延税金資産	-	-	-	-	-	-	(b) -

(a)税務上の繰越欠損金は、法定実効税率を乗じた金額であります。

(b)税務上の繰越欠損金237百万円(法定実効税率を乗じた金額)は、2018年3月期及び2019年3月期に発生したものであります。

当該税務上の繰越欠損金については、繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)に従い、回収不能と判断して全額評価性引当額を認識しております。

【関連当事者との取引に関する注記】

子会社等

属性	会社名	住所	資本財産	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合(%)	関係内容		取引の内容	取引金額 (百万円) (注5)	科目	期末残高 (百万円) (注4,5)
						役員の兼任等	事業上の関係				
子会社	東北リズム株式会社	福島県 会津若松市	300 百万円	精密部品・高 難度精密金型 の製造・販売	直接 (100.0)	4名	当社の 機械、 金型を 製造	資金の貸付 (注1)	2,961	短期貸 付金	177
								資金の返済	2,422	長期貸 付金	630
								利息の受取	8	-	-
子会社	RHYTHM INDUSTRIAL (H.K.) LTD.	中 香 九 国 港 龍	22,000 千HK\$	時計・電子機 器・自動車機 器・精密金 型・樹脂成形 部品の販売	直接 (85.0) 間接 (15.0)	4名	当社の 仕入先	原材料等の 仕入(注2)	2,959	買掛金	275
子会社	RHYTHM PRECISION VIETNAM CO.,LTD.	ベトナム ハノイ市	20,000 千US\$	時計・電子機 器・自動車機 器・精密金 型・樹脂成形 部品の製造・ 販売	直接 (75.0) 間接 (25.0)	1名	当社の 仕入先	保証債務 (注3) 保証料の 受取(注3)	418 0	- -	- -

(注) 1.市場金利等を勘案して利率を合理的に決定しております。

2.取引価格については、市場価格等を参考に決定しております。

3.RHYTHM PRECISION VIETNAM CO.,LTD.の借入金につき、債務保証を行ったものであり、保証料を受領しております。

4.期末残高は、外貨建金銭債務の場合、期末日の直物為替相場により円貨に換算した金額で表示しております。

5.取引金額・海外子会社の期末残高には消費税等を含めておりません。

【1株当たり情報に関する注記】

- 1株当たり純資産額
- 1株当たり当期純損失

2,693円82銭
20円47銭